

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

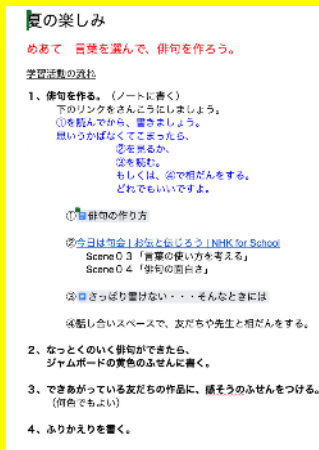
田辺市立会津小学校（和歌山県）

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業支援アプリの活用

### 【Googleクラウドを使用した取り組み】

- Googleクラスルーム、Googleジャムボード、Googleスライド、Googleチャット、Googleスプレッドシートの使用
- ①Googleクラスルームのストリームに張り付けられた1時間の学習の流れを示したカードや学習に必要なリンクに目を通す。
- ②Googleジャムボードを用いて、自分の考えをまとめる。
- ③困った時はチャットに自分の学習状況やつまづいていることについて書き込むことで、友達がそれに対してコメントをつけてくれ、交流することができる。
- ④ジャムボードにまとめたものを用いて交流することで、自分の考えを他者に伝え、また、他者の考えを聞くことでさらに考えを深めたり、さらなる疑問を持ったりすることができる。
- ⑤交流したジャムボードをスライドに貼り付け、他者と交流して得た考えや問いに対する答え等をさらに書き足す。
- ⑥Googleスプレッドシートに、学習の振り返りを書く。

①

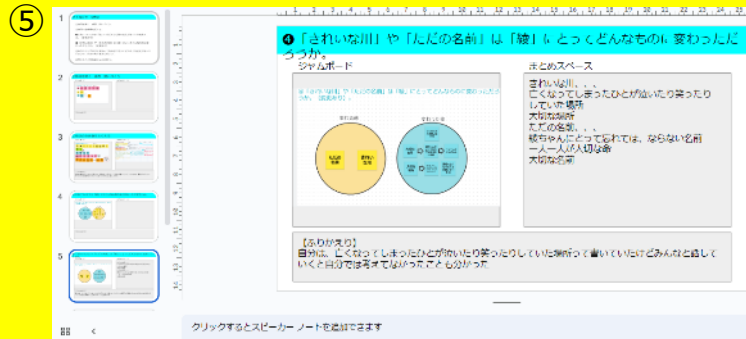


②



③

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業支援アプリの活用



【児童の変容】

- 毎日さまざまな学習の中でタブレットを使用することにより、タイピング能力が上がり、パソコンの操作方法についても習得することができた。
- 発表が苦手な児童も、自分の考えをジャムボードやスライドにまとめることにより、発表することのハードルが下がり、生き生きと発表できるようになった。
- 発表のハードルが下がったことで、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることに喜びを感じる意欲的な児童が増えた。
- 学習に必要なリンクを貼り付けておくことで、個々の児童が自分に必要な学びを選択することができ、個別最適な学びの場を提供することができた。
- 学習の過程で、友達の学習状況を参照することができ、取り組みにくい児童がそれを参考にしながら、学びを進めていくことができた。
- 以前は、4 5分の学習時間の中で発表できる児童は限られていたが、他者参照が容易になり、短い時間で多くの友達の考えを共有することができるようになった。
- チャット機能を使うことで、児童同士の教え合いが容易にできるようになった。
- 理科などでは、すべての実験をしなくても、グループ等で分担し、実験の様子や結果を動画や写真、スライドにまとめることで、共有することができるようになった。